題目（主題）

題目（副題）（副題がない場合はこの行を空ける）

山田　太郎

key words：重要度順に3つまで可

１ページ目：40字×33行＝1320字です。

私たちは，日々さまざまな出来事または名称を記憶する。その中には，長く記憶に残るものから，短い間しか記憶の維持ができないものもある。

方法

　参加者　福山大学の心理学科２年生のうちの女性２名，男性２名，計４名（*M*=19.8, *SD*=0.8）が実験に参加した。

結果

　試行ごとに再生された項目を反応順にまとめ，北濱（1993）の方法にもとづいて，主観的体制化得点（*PF*値）を～

考察

　今回の実験の目的は，無関連な言葉を記憶する際に，主観的体制化の役割を検討し，単語親密度の高いものと，～

２～４ページ目：40字×40行＝1600字です。１～４ページで計6210字です。

　最後に，引用文献のあとに１行あけて，右寄せで指導教員名を入れること。

引用文献

天野成昭・近藤公久（編著）(2003).　データベースシリーズ「日本語の語彙特性　CD-ROM（2003）」　NTTコミュニケーション科学基礎研究所（監修）　三省堂

（指導教員：山田　花子）